

## 江丹別若者の郷活性化協議会・親子天体観測会 アンケート結果等

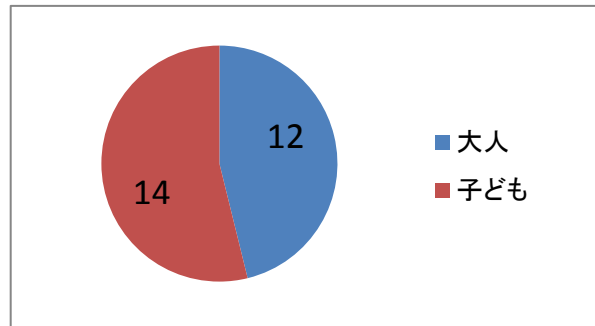
実施日時：平成28年2月20日（土）16：20～17：30  
実施場所：旭川市江丹別若者の郷・若者センター 1階 ホール

### 1. 一般参加者の状況について

#### (1) 大人と子どもの人数

一般参加者26人のうち、大人が12人（うち保護者9人、学校関係者3人）、子どもが14人であった。当初は、保護者1人につき子ども1名が参加することを想定していたが、きょうだいがある場合は、保護者は複数の子どもを連れてイベントに参加することが確認された。

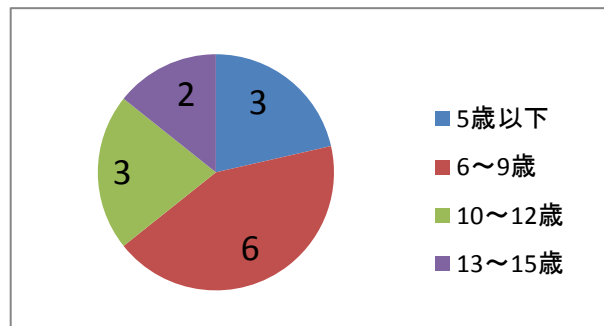
なお、当日はインフルエンザ等で8人が欠席した。（保護者2名、子ども5名、その他一般参加者1名）



#### (2) 参加した子どもの年齢構成

子ども14人の年齢構成は、5歳以下が3人（当日参加）、6～9歳が6人、10～12歳が3人、13歳以上が2人となっている。

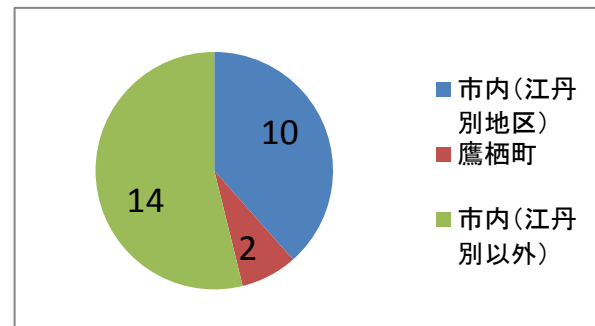
参加する子どもの集中力や理解力を考慮し、小学生以上の児童・生徒であることを募集要件として一定の枠を設定したが、発達段階が異なる児童・生徒が混在している。



#### (3) 地域別の参加者

一般参加者26人のうち、市内（江丹別地区）からの参加者は10人、鷹栖町からの参加者が2人、市内（江丹別地区以外）からの参加者は14人であった。

当日は、旭川市役所前から無料送迎バス（鷹栖町北野経由）を運行し、午後9時前に市役所前に帰着している。子ども連れの保護者の利便性を確保したことが、市内（江丹別以外）参加者が増える一因になったと考えられる。



### 2. アンケート結果について

当日は13名からアンケートをいただいた。（一般参加者・大人12人+その他1名）

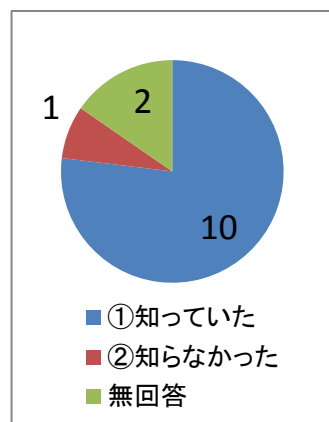
#### ○Q1. あなたは、今まで江丹別若者の郷のことを知っていましたか？

グラフ(左)が本設問への回答状況である。①知っていたが10人、②知らなかったが1人、無回答が2人。

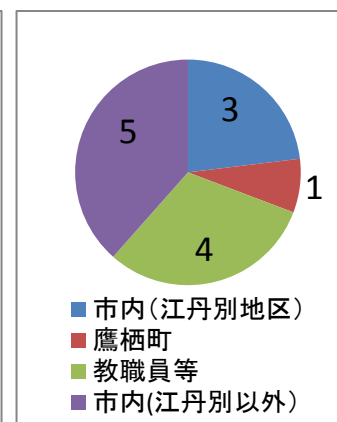
グラフ(右)は、回答者がどこの地域からの参加者かを示したものである。子どもが江丹別小中学校に通学する保護者と同校の関係者が8人（江丹別地区3人、鷹栖町1人、教職員等4）、市内参加者（江丹別以外）が5人である。

市内（江丹別以外）参加者にも、施設が一定程度知られていることが分かる。

■ Q1への回答



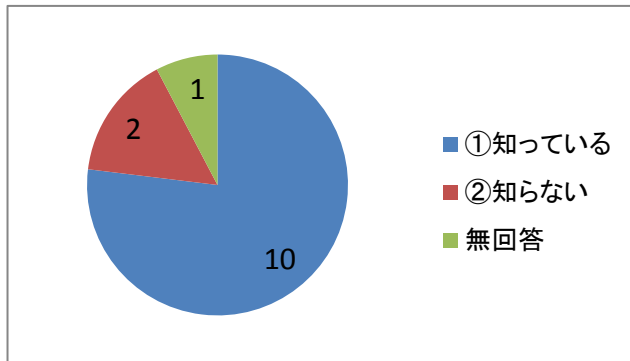
■ どこの地域からの参加者か



○Q2. あなたは、「江丹別若者の郷」でどんなことができるか知っていますか？

①知っているが10人、②知らないが2人、無回答が1人である。

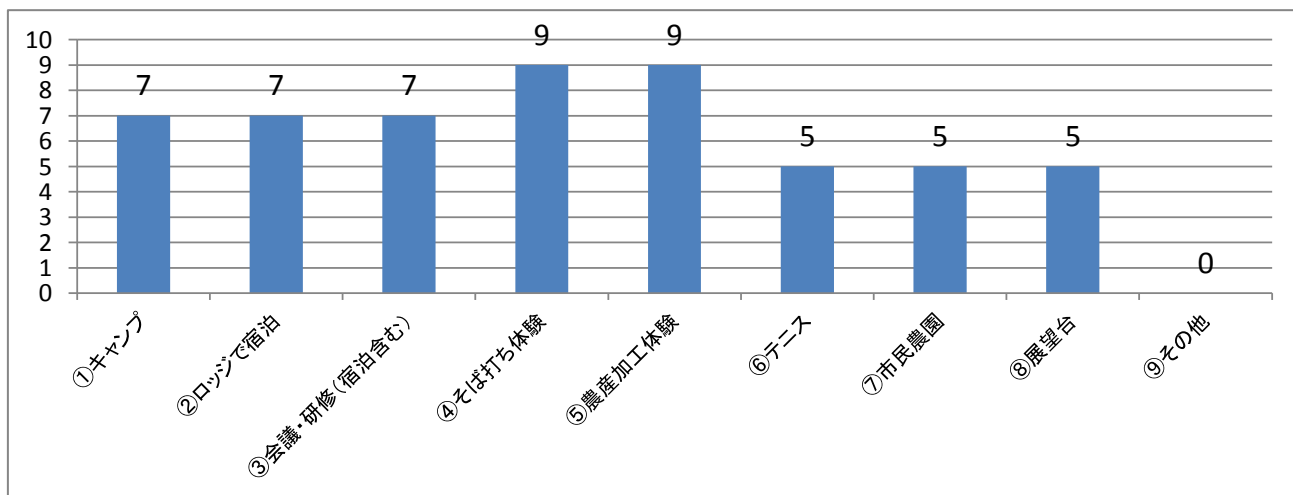
前の設問の回答と併せ、市内（江丹別以外）からの参加者は、江丹別若者の郷の存在自体は認知しているものの、どのようなことができるのか良く分からない（知られていない）ということが読み取れる。



○Q3. 2で「①知っている」○印を付けた方、何を知っていますか？（複数回答可）

回答が多かった順に、④そば打ち体験・⑤農産加工体験が9人、①キャンプ・②ロッジで宿泊・③会議・研修が7人、⑥テニス・⑦市民農園・⑧展望台が5人、⑨その他が0人である。

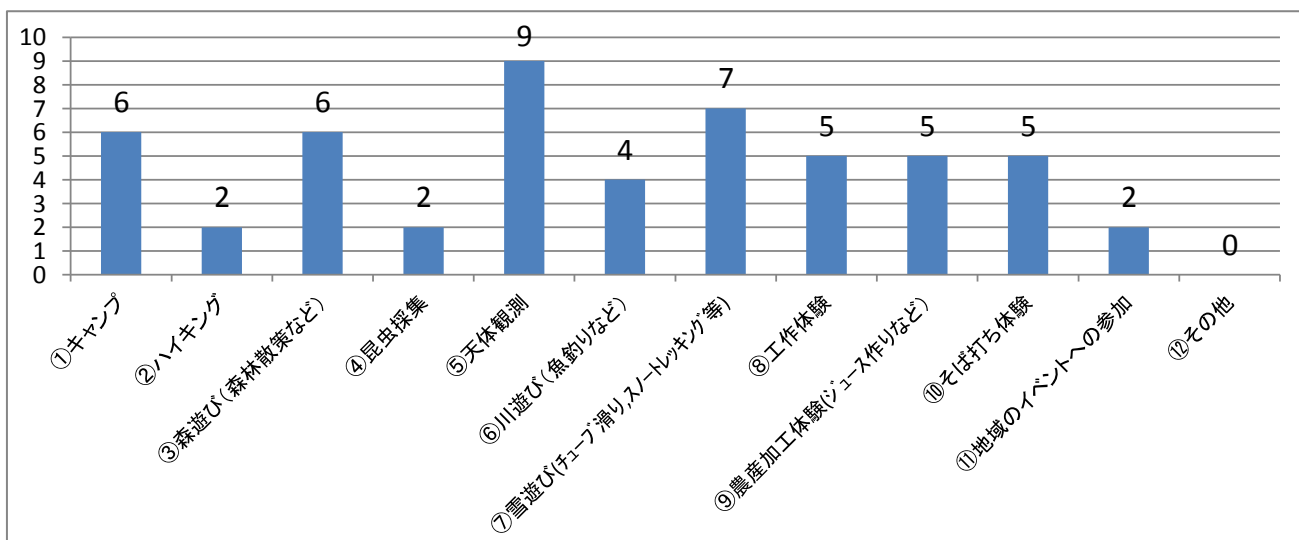
市民広報誌に募集記事が掲載されている④そば打ち体験や⑤農産加工体験は、より知られている傾向にある。逆に、老朽化等のため施設案内を行っていない⑥テニスコート、利用者が限定される⑦市民農園、場所が敷地の奥側にある⑧展望台の回答は少なかった。



○Q4. あなたは、「江丹別若者の郷」で、どんなことをしてみたいですか？（複数回答可）

回答が多かった順に、⑤天体観測が9人、⑦雪遊びが7人、①キャンプ・③森遊びが6人、⑧工作体験・⑨農産加工体験・⑩そば打ち体験が5人、⑥川遊びが4人、②ハイキング・④昆虫採集・⑪地域のイベントへの参加が2人、⑫その他が0人である。

今回の参加者が天体観測を目的としていることもあり、天体観測が最も回答数が多かったが、冬の雪遊び（チューブ滑りやスノートレッキング等）のほか、キャンプや森遊びなどのアウトドア体験に対するニーズも比較的高いことが分かる。

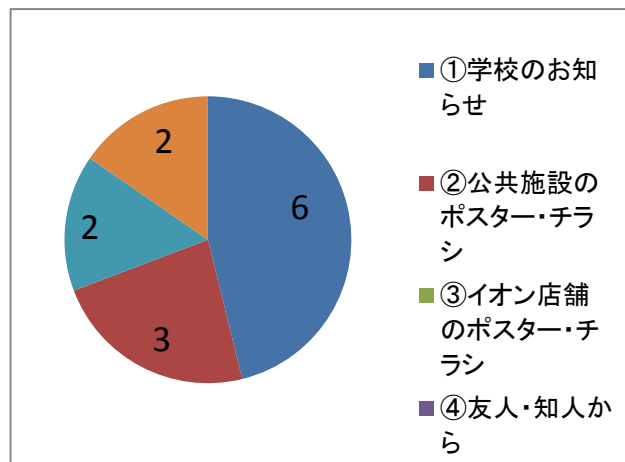


○Q 5. あなたは、今回の「親子天体観測会」をどこで知りましたか。

①学校のお知らせが6人、②公共施設のポスター・チラシが3人、⑤その他が2人、無回答が2人、③イオン各店のポスター・チラシ及び④友人・知人からは0人である。

募集期間が1カ月程度と短期間であったが、市内小中学校への周知及び市内公共機関へのポスター掲示が、一定の効果を上げたことが分かる。

今回、イオン各店舗のポスター・チラシは募集効果が見えなかった。

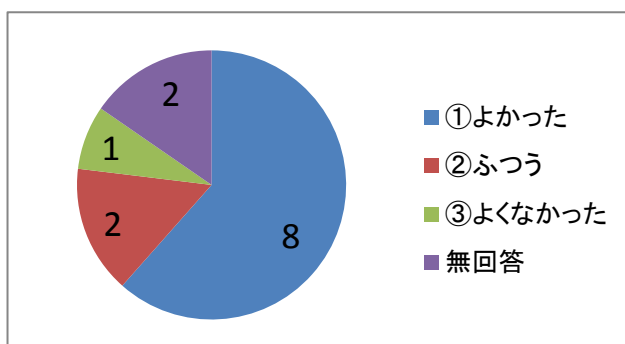


※その他：活性化協議会

○Q 6. 今回の「親子天体観測会」の内容はいかがでしたか。

①よかったが8人、②ふつうが2人、③よくなかったが1人、無回答が2人である。

今回は、あいにくの天候で天体観測を行うことができず、下記「感想」とおり、参加者に十分満足いただくことは出来なかった。また、代替企画の必要性が痛感された。



○Q 7. 感想をご自由にお書きください。

夏（天気には左右されない）の天体観測、ぜひ設定していただきたいです。
ホットミルクがおいしかった。
生憎の天候であったが科学館天文台のスタッフと同好会の方々の努力で、あたかも星座をながめたように星座がよく判った。ありがとうございました。
文字や静止画だけでは無く、動画や音があるともっと子どもが集中するかなと思います。質問等言葉のキャッチボールがあると良いかと。それと同時に面白い雑学があると嬉しいです。
ちょっと難しくて良く分からなかった。（知識がないので）小学生の低学年には難しそうでした。見れなくて残念でしたので、次の機会を楽しみにしています。
星が見れなくて残念です。
天気が悪く残念でした。またやってほしいです。
到着してからの待ち時間が苦痛だった。よくわからない時間がありすぎ！！星空が見えないのなら延期して欲しかった。スクリーンの説明は低学年には難しい！興味を引かない。楽しめる代替企画が必要。外で楽しみたかった。
準備ご苦労様でした。ありがとうございました。

### 3. 改善点

- (1) 天体観測会を行う時間帯が、参加者の夕食の時間帯に重なってしまうことから、何らかの形で食事の時間を確保する必要がある。（各自で用意した物を食べて頂くなど）
- (2) 到着後の無駄な待ち時間や、低学年には長すぎる説明時間、途中で休憩時間が無いこと等が、参加者にストレスを与える結果となった。次回は、全体の時間配分を再検討する必要がある。
- (3) 天体観測が出来なかった場合の、代替企画を用意する必要がある。また、参加者の年齢層に合わせて、内容や説明手法を工夫することが求められる。